

壮年サッカーだより No. 65

1. 山口県壮年サッカー下関大会の結果

日 時 2018年6月3日(日)

場 所 乃木浜総合公園 人工芝グラウンド

対戦相手 ① VS 周南 ② VS 小野田

参加者 福永、河合、武富、池田、萬松(佳)、伯、東條、脇屋、小山、土井、中村、水野(直)、水野(敏)、嶋田、上野、木山、濱村、牛島、荒井、応援:倉重

行実、三村、尾中、奥野、小林、阪田、佐野、高橋、岩目地、上村、岡田、岡田(憲)、山本、多賀、三原、乗安、立石、 37名

結 果 ①

下関ヨントス 2 $\begin{pmatrix} 0-0 \\ 2-1 \end{pmatrix}$ 1 周南

得 点: 池田、水野敏

結 果 ②

下関ヨントス 0 $\begin{pmatrix} 0-0 \\ 0-1 \end{pmatrix}$ 1 小野田

得 点:

今回はホーム下関。会場は今年2月に完成した乃木浜人工芝グラウンド。ミドルリーグと重なり参加者が少ないのではと心配したが、朝から20名が集まった。初戦の相手は水色と白縦縞ユニの周南。ヨントスのユニはルーチェFC岡田監督から寄贈して頂いた緑色を初お披露目。初陣負けるわけにはいきませんが、久しぶりの参加メンバーも多く馬鹿話で盛り上がり、試合前のアップは殆ど行いません。一抹の不安を抱えた選手はピッチへ、その中でも前半はお互い一進一退。しかし10年前黒豹の異名を持っていたFW池田は、密かにゴールを狙っていた。彼も年齢を重ね一時はFWの座を若手に譲っていたが、今回は初赤パンツに履き替え、闘志をパンツと同じように燃やしていた。ゲームは後半5分、味方からの右クロスが敵ゴール前へ、ゴール左奥に位置していた元黒豹は敵後ろから豪快なヘディングシュート。ボールは見事にゴールネットを揺らし、黒豹復活の歓喜の渦となった。その直後の相手ボールでのリスタート。黒豹の異名を復活させた池田はなぜか？相手がキックオフしていないのにフラフラとセンターサークルに侵入。味方は啞然としていた中、目を覚ました敵キッカーは、キックオフのボールをそのままシュート。無残にも下関旧守護神 武富の頭を越えてゴール。黒豹池田のゴールはあっさりと消されてしまったのであった。試合はその後1点を追加し勝利。2試合目は、ミドルリーグを終えたメンバーも参戦、その後は総勢26名の下関壮年メンバーで紅白戦を行い、一日楽しいサッカーを満喫したのであった。

2. 山口県壮年サッカー大会のご案内

9月 9日(日) 厚狭大会
10月21日(日) 防府大会

9月22・23日(土・日) 岩国大会

以上